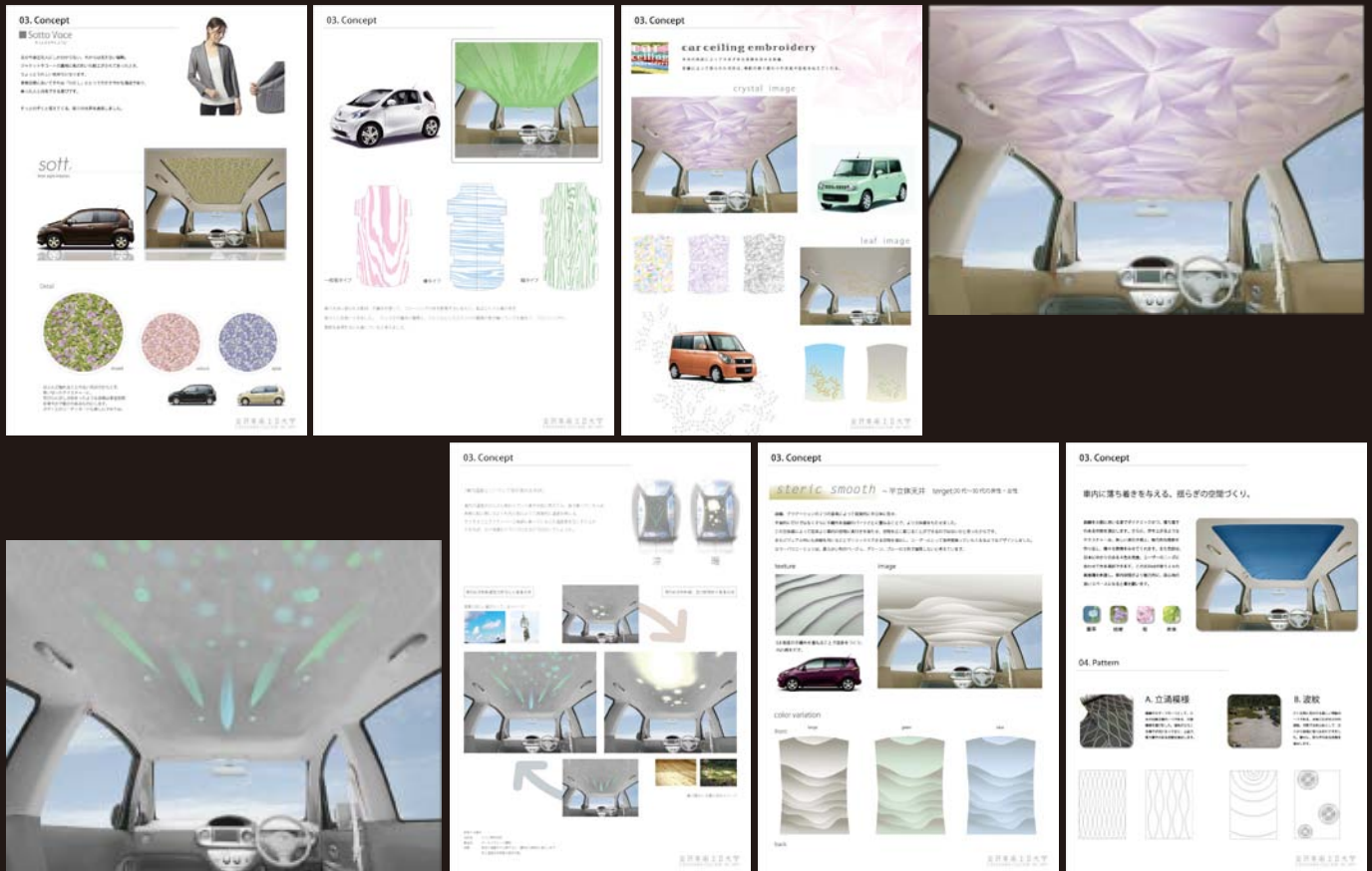


産学連携センター 研究成果報告書



研究テーマ

車内天井材のテキスタイルデザイン開発

目的・概要

今回のテーマは「若い人が乗りたくなるような車内空間」をイメージした天井材の提案。日頃あまり気に留めることのない天井材に取り組んだ。車業界がターゲットとしている若者に視点を絞り、ターゲットと同年代の学生ならではの感覚や、既成概念にとらわれない発想などをもとにした提案が企業側から求められた。大学側としては、企業との製品開発プロセスを体験することにより、学生の資質向上や教育的効果の促進などを意図した。

期間

2010年10月27日から2011年4月11日

委託者

株式会社オーツカ

研究体制

プロジェクト型

担当教員

工芸科	川本敦久 教授(社会連携担当理事)
デザイン科 製品デザイン専攻	浅野 隆 教授(産学連携センター長)
デザイン科 視覚デザイン専攻	寺井剛敏 教授

参加学生

工芸科	3年：高橋佑子
	2年：小山内菜美
デザイン科 製品デザイン専攻	2年：荒金明道、林田怜詩
デザイン科 視覚デザイン専攻	2年：修田佳祐、吉村知代

PROCESS

2010.10.27

オリエンテーション

2010.12.07

第1回打合せ

2011.01.17

第2回打合せ

2011.02.16

第3回打合せ

2011.04.11

最終プレゼンテーション



オリエンテーション

オーツカ担当者より、今回のプロジェクトの概要と天井材の素材についての説明が行われた。「若い人が乗りたくなるような車内空間」の創出を念頭に、既成概念にとらわれない若い学生ならではの提案が求められた。



打合せ・試作・検証

3回の全体ミーティング以外にも、学内ミーティングも5回実施。最初は学生が自由に発想したアイデアをもとに実現可能な方向を探った。

その後段階的に、学生個別のアイデアを新しい方向性へと誘導、多様な調整を行いながら完成させた。

提案によっては試作検証も行い、学生は企業側の意見やアドバイスをもとにデザインをブラッシュアップさせていった。



最終プレゼンテーション

検討用として提供された天井素材に貼り付けるなどの工夫を行った。資料をもとに、学生自らが社長や関係者へ、各自のアイデアのプレゼンテーションを行った。